

知っていますか？

民生委員・ 児童委員の活動

核家族化や少子高齢化が進み地域社会のつながりが薄くなっている現在、周囲から孤立して誰にも相談できない人や支援制度のはざまにいる人が増えています。そんな中、身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めているのが、民生委員・児童委員（以下、民生委員）。今回は地域で見守り活動などを続けている民生委員について紹介します。

（地域福祉室）

内容に応じて市や関係機関とつなぎ、困りごとの解決をサポート。



ひとり暮らしの高齢者などを訪問しています。



活動

委員としての質を高めるための研修を受講します。



研修

福祉や子育てなどの相談に対応。秘密は固く守ります。

相談



厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員です。

身分

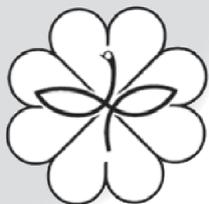


民生委員って？

民生委員は、法律に基づいて厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員です。しかし給与の支給はなく無報酬なので、ボランティアで活動を行っています。また、児童福祉法に定める児童委員も兼ねており、妊娠中の心配ごとや子育ての相談などにも対応しています。これは90年以上前から続く制度で、市内には52人の民生委員が小学校区ごとに活動しています。

クローバマーク

民生委員には、四つ葉のクローバマークのバッジが配布されます。民生委員の頭文字「み」と、児童委員のマークである「双葉」を組み合わせて、平和のシンボルであるハトをかたどったデザインは、愛情と奉仕を表しています。



民生委員

Q&A

1

どんなことをしているの？

担当する地域に生活上支援が必要な人がいないかを訪問や電話などで把握し、もし支援が必要ならサービスの情報提供や関係機関の紹介などを行います。他にもひとり暮らし高齢者の安否確認や子どもたちへの声掛けなどを行い、地域に住む誰もが安心して暮らせるように活動しています。

こんな活動をしています

きっかけは東日本大震災 地域のつながりを強めたい

水野節子さん(庄内西町3丁目)



結婚を機に5年前から庄内西町に住んでいる水野さんは、昨年12月に民生委員になったばかり。きっかけは東日本大震災でした。

「親友が宮城県石巻で亡くなったと聞き、慌てて被災地に行きました。そこでは、親友のお父さんが自治会長として地域の人のために働いていて、人

のつながりの大切さを実感しました。また、私の家の近所では、自治会長さんが毎朝、道を掃除していて、私も家の周辺のごみを拾い始めるように。昨年6月にその自治会長さんから民生委員の話をいただき、人の役に立ちたいと思いました」。

推薦委員との面談で「地域のことに不慣れな面もありますが、誰かの役に立ちたい」と答えた水野さん。昨年12月に民生委員に委嘱され、前任者や隣の地区の民生委員が担当区域の引継ぎなどを丁寧に教えてくれたそうです。また、初めて出席した定例会では、「不

安に思わなくていいよ」と他の民生委員が励ましてくれたといいます。

「訪問すると、『朝、掃除をしている人ね』と言われる、『民生委員になりました』とあいさつしています。なかなか会えない人には連絡先などを書いた手紙を入れるようにしています。いきなり訪問して邪魔だと思われたらどうしようと思っていました。何かあったら電話をかけますね。今の時代に手紙をくれる人はいないのでうれしいとおっしゃる人もいて、つながりを求める人がいることも再確認。改めて勇気を出して発信することは大事だと思いました」。

宮城県石巻の被災地ではボランティア活動を行った水野さん。「地震などの緊急時にこそ、地域のつながりが必要です。災害時に支援が必要な人に対するフォロワーをどうするのかなど、地域全体で考えてもらいたい」と今後の目標を力強く語ってくれました。



朝の掃除を始めてからポイ捨ては減り、あいさつをしてくれる人が増えているそうです

互いに助け合うことで 仕事との両立を実現

中尾司さん(豊南町東2丁目)



この地区で部品工場を営む中尾さんは40歳代で民生委員に。当時は、働き盛りの年齢で民生委員になる例は少なかったそうです。

「仕事中に電話連絡があっても、仕事の納期があると簡単には抜けられません。それでも飛んで行かなくてはいけないときがあるので、その時は従業員に後を頼んでいます。自分に無理のない範囲で、周囲の協力を得ながら活動を続けることが重要ですね。」

高川地区の地区委員長も務める中尾さんが現在力を入れているのは、民生委員の若手の育成です。現在、同地区にいる14人の委員は40歳代から60歳代で、そのうち9人は仕事と両立しています。そこで中尾さんは、自身の経験をもとに委員が動きやすい環境をつく

っています。

「一番大切なのはチームワーク。委員が仕事で対応できないときには、私や他の委員が代わります。また、民生委員だけではどうしても行き届かない部分もあるので、地域の人には、『皆さん同士で隣近所を気にしてもらい、何かあればすぐに連絡をください』と言っ



アクア文化ホール(曾根東町)で開催された全体研修の様子。他にも地区単位での定例会などで委員が集まり、情報交換や事例研究が行われています

て、助けられています」。

耳の聞こえにくい高齢者は電話の呼び出し音やノックの音に気付きにくいいため、何度訪問しても直接会うことが難しい場合もあります。中尾さんは「週に一度は高齢者から電話をもらう仕組みを検討しています。やるべきことがあるとその人も元気になるのでは」と話します。

民生委員としての仕事は多いものの、行事の出欠確認を兼ねて訪問を行うなどの工夫を続け、仕事との両立を実現している中尾さん。「仕事が忙しくても感謝の声を聞くと人の役に立っていると実感できますね。もうライフワークになっています」と笑顔で話してくれました。

民生委員 Q&A Ⅲ

秘密は守ってくれるの？

民生委員は、法律により公務員としての守秘義務が課せられており、活動上で知った個人のプライバシーは厳守します。守秘義務は委員を退任した後も課されますので、安心して相談してください。

民生委員 Q&A Ⅱ

どうやって選ばれるの？

候補者は豊中市民生委員推薦会の委員による面談などを経て推薦され、厚生労働大臣から本人に委嘱されます。委嘱後には新人研修の他、経験年数ごとの研修や全体研修もあります。任期は3年ですが、再任されることもあります。

どんなときに 連絡したら いいの？

高齢でのひとり暮らしで健康などに不安がある、育児について身近に相談相手がほしいなど、自分や家族の医療や介護、妊娠、子育てなどの心配ごとや不安、悩みがあれば相談してください。地域の頼れる相談相手として、皆さんのそばで活動しています。

こんな
活動を
しています

3 ささいな気づきを大切に 自分の元気の源にも

吉山妙子さん(新千里東町2丁目)



集合住宅の建替えが進み若い世代が急増中の東丘地区で、民生委員を務める吉山さんは、活動を続けて今年で14年目。この地区に14人いる民生委員をまとめる地区委員長でもあります。日ごろはひとり暮らしの高齢者を訪問して困ったことがないかを聞いたり、月に1回地区会館で高齢者や子育て世代

を対象にした校区福祉委員会が主催するサロンに参加したりしています。

民生委員の電話番号は公開されていますが、自らSOSを発信できない人のためにも積極的に訪問を行う吉山さん。「プライバイシー保護の観点から、ひとり暮らしになった世帯の把握が難しくなっています。行政の世話になりたくないという人もいますが、介護保険などの制度を活用すると快適に暮らすことができますので、できるだけ制度の紹介をしています。以前、体が悪いのに病院に絶対行かないという人がいました。電話をよくもらっています。

度に訪問していましたが、ある日、テレビがつけっぱなしで、これはおかしいと。ご家族に許可をもらって中に入ったら、亡くなられていて…。それでも妹さんは、『あんなに頑固だった兄に、ここまで付き合ってくださいあってありがとう』と言ってくださいました。

カーテンの開け閉めや電気の点灯なども確認し、高齢者の見守り活動を行う吉山さん。「困ったときは電話だけでもいいので、遠慮なくもつと甘えてほしいですね。私たちもこの活動を通して元気をもらっています」と話してくれました。



訪問している人と会えると、世間話などに話が弾むそうです

生活の異変に気付いたら 安否確認 ホットラインへ

☎6858-3327



自宅で倒れていることが確認できた場合は、警察(110番)か消防(119番)へ緊急通報してください。

「最近、姿が見えない」「新聞や郵便物がたまっている」。皆さんの周りで、そんな異変に気付いたら安否確認ホットラインへ電話してください。

連絡や通報があると担当部局の職員が現場に向かい、緊急性がある場合は警察や消防と連携し対応します。緊急性がない場合でも、継続的な訪問や民生委員への情報提供を行い、支援を続けます。

ホットラインに寄せられた電話により命が助かった例もあり、皆さんの気づきは孤独死を防ぐ重要な情報源です。ささいな異変でも、連絡をお願いします。